

この映画の最大のテーマは「地元愛」 出演しているプロの俳優はたったの 5 人で、その他は鷺宮町民 100 名・アニメファン 50 名の一般人が映画を盛り上げています。勿論撮影はオール鷺宮ロケ。さらにアニメの聖地として有名な鷺宮町だけに、本編にはアニメパートやアニメファンなら誰もが笑ってしまうパロディ、オマージュがふんだんに盛り込まれています。

町民やアニメファンが参加し鷺宮町を余すことなく表現しているこの映画のストーリーは、なんと現実と同じく町民参加型の地域映画を作るというもの。夏休みに地元の鷺宮町に戻ってきた隆は、商工会に務めている先輩の松本から鷺宮をテーマにした映画作りを頼まれます。最近になってアニメの舞台として知られ、オタクな観光客が押し寄せる鷺宮町。自分の知らない地元の姿に戸惑うばかりの隆は、大学のサークル仲間にも助けを求めます。神社で巫女をしている幼馴染の桜子にも支えられながら、町の人々にカメラを向けると、そこには昔ながらの風景や聖地として有名になった新しい鷺宮が見えてきたのでした。

主演はイケメンアイドルユニット D2 の上鶴徹くん。何も無いと思っていた地元を映画作りを通して見つめ直す現代の若者を爽やかに演じています。また隆の幼馴染・桜子役には今や国民的アイドルグループとなった AKB48 の増田有華さんが扮し、映画に華を添えます。AKB48 からの派生ユニット DiVA で注目度抜群の増田さんの初主演映画、しかも巫女服とあってはファンの皆さんはもう絶対に観るしかないですね(笑) 脇を固めるのは上鶴くんと同じ D2 の山口賢貴、元 AKB48 の折井あゆみの二人。さらに地元大学生 (勿論素人!) の若林福成くんが見事な演技を披露してくれています。

最初にも書いた「地元愛」はこの映画の至る所で観ることができます。町民の皆さん、鷺宮町に何度も訪れている「らき☆すた」ファン、商工会の皆さん。すべての関係者が笑顔で参加され、地元での映画作りを心から楽しんでいらっしゃるのが伝わってきます。作品中では混じりっ気のない鷺宮に生きる人達の生の声が収録されていて、アニメの聖地となった地元をさらに楽しく、そして自分たちももっと楽しくなろうという気持ちが画面いっぱい表現されていました。

特典映像にはアニメパートの続編やこの映画のスタートとなった企画映像など、鷺宮のエネルギッシュな姿がこれでもかというくらい詰め込まれています。私はこの中に地方自治体がもっともっと元気になるためのヒントが隠されてるような気がしました。

是非とも鷺宮町に (できれば「らき☆すた」を観てから) 足を運んで DVD を買って、こんなに面白く活気に満ちている町があるんだということたくさんの人に知ってほしいと思いました。

高梨知広 (学生・学部 3 年 / Twitter : @oldestowl)